



月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8 金曜 あそぼう会	9	10
11	12 中川さん 川野さん	13 親子とも あそぼう会	14	15	16 つくりがげる 会	17
18	19 点検日 休み	20	21 さくら	22 金曜 あそぼう会	23 ベーゴマの日	24
25	26 18時 閉所	27 ゆりで あそぼう、 話す会	28	29	30	31



月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6 こどもゆめ 横丁	7
8 臨時点検日 休み	9 中川さん 川野さん	10 親子とも あそぼう会	11	12 金曜 あそぼう会	13	14
15	16 点検日 休み	17	18 さくら	19	20 つくりがげる 会	21
22	23	24	25	26 金曜 あそぼう会	27 ベーゴマの日	28
29	30 17時 閉所					

火と工具の日 たき火ができます。工具が使えます。  
キレイにし隊 11:30から夢パーク周辺のごみ拾いをしています。  
畑作業 入口近くの畑で季節に応じて苗を植えたり、収穫したり、季節の作業をします。芋ほり等の日程は、夢パーク内に掲示します。

\*イベントは都合により中止または変更となることがあります。ご不明な点はスタッフまでお尋ねください。



◆◆◆ こどもゆめ横丁 ◆◆◆  
11月7日(日)こどもゆめ横丁を開催します。  
詳しくは、開催日が近くなりましたらHPで確認してください。

◆おはなしパーク  
ボランティアさんによる絵本の読み聞かせの時間です。  
乳幼児対象。申込みは不要。

時間：11:00～ 場所：ゆるり(変更の場合もあります)  
中川さん川野さんの読み聞かせ 毎月第二火曜日  
おはなしブックカフェさくら 毎月第三木曜日

◆親子でもっとあそぼう会  
乳幼児親子対象。プレーパークと一緒に遊びませんか?  
申込みは不要。汚れてもいい格好で来てください。  
内容：10月13日(水)『木道ベンキ』

11月10日(水)『花苗植え』  
時間：10:30～13:00

◆金曜あそぼう会  
外あそび初心者やよちよち歩きの乳幼児も一緒にあそびましょ  
う。申込みは不要。

日時：10月8日・22日、11月12日・26日  
(金) 10:30～12:45

◆ゆるりであそぼう、話そう会  
乳幼児親子対象。申込みは不要。  
ボランティアさんによる室内遊び、読み聞かせの他、お悩みを気軽にお話しや相談ができます。

内容：10月27日(水)『絵本について』  
11月24日(水)『遊具・ゲームについて』  
日時：10:30～11:30

場所：ゆるり

◆ベーゴマの日  
初めての子も、得意な子も、一緒にベーゴマをまわそう!  
ベーゴマの貸し出しもあります。申込みは不要。

日時：10月23日・11月27日(土) 14:00～

◆おさがりバザール  
我が家には小さくなった子ども服や靴を無料で譲りあっています。ご家庭にある夏～秋物をお持ち寄りください。

\*おさがりのお持込みは、おさがりバザール期間中にお願いします。(5、7、9、11、1、3月)

★奇数 11月17日(水)～23日(火) 9:30～18:00

場所：事務所前

◆つくりつづける会(利用者懇談会)  
夢パークを利用する団体や個人、支援委員会、夢パーク・えんスタッフたちで近況報告や情報交換、また、夢パークの利

用のことやイベントのお知らせ、夢パークでの出来事などを話しています。夢パークについて関心のある方、どなたでも気軽に参加できます。ぜひ、のぞいてみて下さい。

日時：10月16日(土) 14:00～  
11月20日(土) 14:00～

2人

開所時間：午前9時～午後9時  
★入場無料  
★駐車場はありません(障がい者用駐車場についてはおたずねください)



発行：夢パークつうしん編集委員会  
高津区下作延5-30-1 子ども夢パーク内  
Tel:044-811-2001  
<https://www.yumepark.net>

2021年

10月号

No.  
106

雨あがり 泥がなんだかチョコレートみたい。

汚したら 怒られるかな?

あれ、思ったよりかたいぞ。

私の力が伝わって 泥は形を変えていく

泥のざらざら ぐちゃぐちゃを感じて

私は力のいれ方を変えていく

「泥だんご 焼いてこよー!」「お花のせてケーキにしようよ」

これって焼いたらどうなるんだ?

お花ってどんなのが咲いてるだろう。

一緒に探しに行こうよ

私の世界が 周りに伝わっていく

受け入れられて 自信がわいてくる

出会いが私を豊かにする

明日は何をしようかな?



【川崎市子どもの権利に関する条例】は2001(平成13)年に全国ではじめてつくられました。子ども一人ひとりが人間として大切にされ、守られながら自分らしく生きられるように作られた、市と市民との「約束」です。

この条例をもとに、子どもの居場所・活動の拠点となるように作られた『子ども夢パーク』

ここは、子どもがだれでも自由に遊んだり、やりたいことにチャレンジできる場所です。



★ 人間として大切な子どもの権利 ★

- 1、安心して生きる権利
- 2、ありのままの自分でいる権利
- 3、自分を守り、守られる権利
- 4、自分を豊かにし、力づけられる権利
- 5、自分で決める権利
- 6、参加する権利
- 7、個別の必要に応じて支援を受ける権利

11月20日はかわさき子どもの権利の日

# 火とわたしたち――夢パーク特集～火～。

「マッチを擦ったことがない」という声も、その声の主が子どもではないことも、珍しいことではない。仏壇にろうそくを灯す家庭は減り、IHコンロが普及しつつある。火を目にする機会は、お誕生日ケーキを囲むときだけ、という人は、少なくないだろう。たき火に人が集まるのは、火が珍しいからか、ヒトの本能からなのだろうか。

ヒトが自分たちで火を起こして扱えるようになったのは、遙か数十万年前。外敵を気にせず、安心して、柔らかい食べ物を食べる。そして、「あったかいね」「美味しいね」と、語り合う。この光景は、ヒトと火の出会いの恵み。

薪の調達から火起こしまで、簡単な作業は一つもなく、絶えず面倒を見なければ、火はすぐには消えてしまう。また、扱えないほどの大きさになれば、火は恐怖の対象にもなりえる。自然と格闘し、手と目をかけ続けることが、火を扱うということ。

しかし、火自分で起こさなくてもよい暮らしが、今は当たり前になった。それは一体誰のためなのだろう。イチから火なんて起こす暇もなく、お尻に火がついたように、忙しく働く人が増え続ける社会。ヒトは火から遠ざかり、気づけば、火に近づく暇もなくなった。(代わりに、家計が火の車になった。)

あり余る時間とエネルギーを、火起こしに注ぐ子どもたち。燃えカスと共に、何が残るだろう。手のひらについた傷か。仲間と共にいる喜びか。新しい世界への驚きか。はたまた悔しさか。忙しい大人は、都合の良いものだけを選びがちだ。「全然火がつかねーよ」と笑う子どもたちは、都合の悪いことも全部受け取っていく。失敗しながらつけた火が、私たちの心を近づける。

「やり直せばいいんじゃない」、仲間のまなざしは、いつも温かい。(ス・やのちん)



## 火とこどもたち

自然に囲まれた夢パーク。中でも、火は独特な面白い遊びの世界をいつも見せてくれます。

**【焼く】**石を焼くと、どうなるんだろう? 子どもたちからよく耳にする疑問です。やってみると、何もかわりません。おかしいなあ。しかし、焼石を水につけるとシュッという音が! この音が最高に面白いようで。この音を聞くために、何度も何度も石を焼いては水に入れていました。

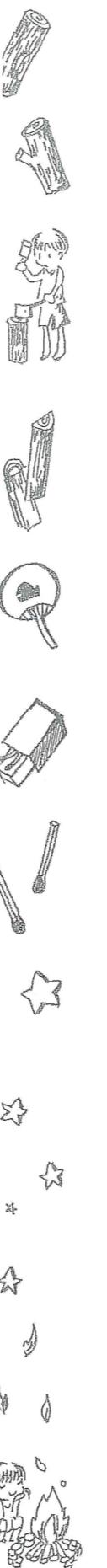
**【燃やす】**とあるゲームの影響かみんな松明を作りました。木の棒を火に近づけ、先端に火がつくのをじっと待つ。「おお、ついた!」たとえ少しの火でも、自分で作った立派な松明に誇らしげです。

**【沸かす】**水あそびで体が冷えたら、鍋でお湯を沸かしてそれを頭からかぶるなんて子も。体が温まったらまたウォータースライダーへ。そしてまたお湯をかぶる。そのエンドレス。人が増えれば、大きな容器にお湯を運び、みんなで足湯。そこにいる知らない者同士で、沸かして運んでをせっせと繰り返す。入れ代わり立ち代わりで、協力する輪が広がっていく様はとても印象的でした。

**【煮る】**お湯を沸かした鍋に、なにやら葉っぱをいれてグツグツ煮ています。何かと思ったら夢パークで採ったミント。どうやらミント水を作っているよう。とても良い香りが漂ってきました。ミント水はペットボトルにいれてお店屋さんごっこに発展していました。

**【眺める】**たき火をただ、じっと見つめる子がいます。素材による燃え方や煙の違いを考えたり、薪から水分が出てくるのを驚きながら見つめていたり。暗くなると燐火が星空のようだねという子もいます。眺めているだけで、いろんなことがふくらんでいるようでした。

いろんな世界を見てくれる火は多くの魅力に包まれているようでした。(ス・ひろと)



# たき火をしよう

まきをあつめよう

レシガで  
かまどをつく  
まき割りで  
つる  
まきわら  
お落ちてる枝を  
ひろう

ペンキついてる木  
ベニヤ板  
葉っぱは  
もやせないよ

まきわら  
さいにまで  
火をつけよう

まきを組んで  
火はさいごまでみよう  
いけなないと危ないよ!

たき火に入れまきは  
炭になるまでもやしてね  
さいごは水をかけて  
おわり

いろんな  
ひ  
火のつけ方  
あるよ

火はかまどか  
持ち出さないで  
草や木にうつったら  
たいへんなこと!!

まいきり式  
ゆみぎり式  
ひきぎり式  
虫めがね  
火打ち石

みんなはどれでつけてみる?

## ★届け、夢パの火！～パラリンピック採火イベント～★

8月14日（土）に東京パラリンピック採火式に向けて、高津区役所の主催で「高津区の種火」づくりを行いました。川崎市の7区で、思い思いの種火をつくります。高津区は共生社会の象徴として、夢パークが会場になりました。

いっさい人工物を使わず、まいぎり式や火打ち石などを使って火種をつくり、麻紐をほぐした火口（ほぐち）に移してから、たき火に着火しました。あいにくの雨模様で湿気が多く点きにくい中でも、たくさんの子どもたちがチャレンジして、好奇心いっぱいのワクワクの表情を浮かべていました。（ス・ダイスケ）



## ★防災訓練について★

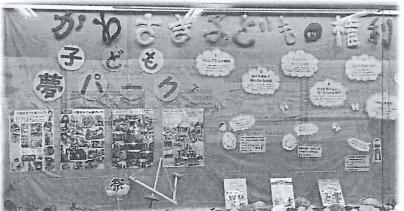
9月7日に夢パークで防災訓練を行いました。この防災訓練は、スタッフはもちろん、夢パークに来ている人、フリースペースえんに通う子どもたちと、その時夢パークにいる全員で行います。今年はコロナの状況下と夏休み明けの暑りということで、来所者が少ない中での訓練でした。避難先は広場の時計台の下。スタッフはそこで状況確認を行います。4分程で各部屋などの確認と避難が完了。訓練のため全スタッフ参加でしたが、実際に地震が起きる時には、スタッフの人数は少ないと想われる、あらかじめ避難体制を整え、その時その場にいる人全員で協力していくことが大切だと思います。近年、夢パークが開いていたる時間帯に地震が起きることはほとんどありませんでしたが、かつて地震発生時に素早い避難が出来た事例もあるそうなので、訓練は重要だと改めて思いました。



（ス・いずみん）

## ★権利の日事業、権利フォーラムについて★

8月20日から9月3日まで子どもの権利の広報啓発の為、川崎駅地下街『川崎アゼリア』に子どもの権利コーナーを設置していました。夢パークやフリースペースえんを紹介し、実際に夢パークの雰囲気を知ってもらうために日常で使っている火起こし機やトンカチ、泥だんごやベーゴマなどの展示をしました。11月6・7日には川崎市で子どもの権利条約フォーラムが開催されます。子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた子どもの権利条約をたくさんの人々に知ってもらおうと1993年から毎年、年に一回全国各地で行われており、2021年は川崎市で行われることとなりました。そして今年、川崎市が子どもの権利に関する条例を施行して20周年を迎えます。子どもの権利について、私たちおとなが改めて考える機会になればと思っています。（ス・たかしー）



（ス・たかしー）



11月23日に夢パーク所長講演～遊び場のもつか～を開催します！

毎年開催している夢パーク所長講演ですが、今年は「遊び場を楽しむ大人たち」をテーマに、夢パークで活動する大人の関わりについて紹介します。得意分野を活かしながら子どもと共に夢パークを楽しむ地域のおじさんや、夢パークに魅了された日々子どもと共に遊び込むお母さん。夢パークで育った子どもたちが若者になってイベントをサポートしているなどなど。多様に関わる大人の姿を見てきた新所長の友兼大輔さんやスタッフの矢野勇樹さん（やのちん）と泉遼也さん（いずみん）より、中でも印象的だったエピソードを交えてお話していただきます。（支・なかじい）

・開催日時：2021年11月23日（火・祝）10時～12時  
・会場：夢パーク 多目的ホール  
(新型コロナウィルス感染状況によりオンラインで開催)  
・定員：先着30名  
※お申込み：夢パーク事務所にお問い合わせください。

7月23日は夢パークのお誕生日でした。今年で18歳になりました。おめでとう！夢パーク！毎年、夢パ祭りを開催してみんなで遊ぶのですが、今年はコロナ禍の影響で中止になりました。そのためつくりつづける会では、花と特製かごで『お花ケーキを作ろう！』と準備をすすめてきました。試作のときから、自然に生えている夢パークの草花をみんなで思い思いに摘み取って、特製かごの好きな場所に生けるお花ケーキはまさに夢パ色！こんなにいろんな草花が咲いてるんだね、と気づかされながら素敵なケーキがたくさんできました。そして当日、花壇の花も加わりたくさんの人達が飾り付けをして、夢パークのお誕生日をお祝いしました。今回初のお花ケーキ、また来年一緒に作りましょう！（支・みつきー）

次回は10月16日（土）14:00～



## ■YTK（横丁たのしくしよう会）■

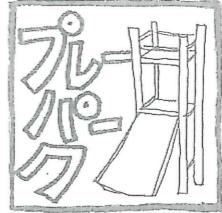
YTKでは、新型コロナウイルスの状況の変化を踏まえ、何とか横丁を開催できる方法を模索しながら、会議を重ねてきています。

おおむね和気あいあいしながらも、時には濃い内容を真剣に話し合ったり、夏の暑い日はみんなでアイスを食べたり。

スタッフとしてずっと考えているのは「子どもたち、そしてわたしたちスタッフやおとなたちにとつて“横丁”ってどういうもの？“横丁”で大切にしていることってなんだろう？」ということ。

例年通りのお客さんがいっぱいの賑やかな「こどもゆめ横丁」にはできないし、去年とは状況が違う中で、一人一人の横丁への思いが問われているなあと。それは、夢パークの日常をどんな風に過ごしたいのか、ということとも切り離すことができない。考へてもどうすればよいのかわからないことばかりだけど、大事なことだからこそ、子どもたち、支えているスタッフ、おとなたちと話し合いたいなあと思う今日このごろ。

（ス・あいっぺ）



## ■せせらぎ掃除しちゃる？■

せせらぎ掃除を知っているかな？せせらぎ池（通称：せせらぎ）はウォータースライダーがある所で、暖かくなると水あそびで盛り上がるよ。泥だらけの人たちがせせらぎに入るから、たくさん泥が入ってしまう。盛り上がっている時はどろどろ沼になるんだ！だから、みんなでせせらぎ掃除をすること大切にしているよ。せせらぎ掃除は毎月第2・4木曜の午前中から始めるんだ！スタッフが掃除をしていると「僕たちもやりたい！」と子どもたちが声を掛けてくれて、ワイワイ遊びながら楽しい掃除が始まるよ。楽しそうな雰囲気に、見ていたおとなも気づいたら一緒に掃除して、せせらぎが綺麗になるんだ。こうやって夢パークはみんなの力を借りて一緒にあそび場をつくっているんだ。道具もイベントもスタッフだけで決めるのではなく、来ている人たちと一緒に考えていくことを大切にしているよ。

（ス・トラ）

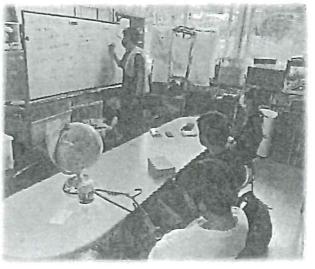


## ■おはスタ■

えんでは月、金曜日の午前中に『おはスタ』（おはよう study）と称して、楽器の演奏や音の鳴るゲームは控えて、勉強優先の時間。一緒に学ぼうという時間をとっています。その中で最近ひそかに盛り上がりを見せているのが何を隠そう【講座名：いけちゃんと考える】。

しばらくえんから離れていた中高生らを半ば強引に巻き込み、手始めに『なぜ選挙に行くのか？』を語ったところ、これがなかなか好評。「こういうのだったらまたやりたい！」と声が上がり、またみんなで考え話し合えば新たな疑問も生まれてくるわけで「じゃあまた次の回で！」と、一応その都度テーマは決めつつも、今では政治、経済、地理、歴史、宗教、哲学、思想等々様々な視点で自由にディスカッションする時間となっています。やっぱ『考える』って面白いよね！

（ス・いけちゃん）



《ボランティアの方に聞きました！その4》

## ■夢パーク、えんを撮る 山口さんにインタビュー■

長い期間、夢パークとえんを撮影している山口さんにインタビューさせていただきました。つくりつづける会の一員として撮影をし始めた山口さんは、ガツガツと撮影を行うのではなく、子どもたちと実際にあそび、コミュニケーションをとることで、あそびの重要さを実感しながら撮影をしています。最初は、子ども夢パークやえんのイベントに参加しながら撮影をしていましたが、コロナ禍になってからは、より子ども夢パークやえんの日常に密着し、子どもたちがどのようにコロナと向き合っていくのかを注目しながら撮影を続けていたそうです！YouTubeのグループ現代というチャンネルで「子ども夢パーク第1回『ゆめぱってこんなとこ』」が配信されています。次回の動画も近いうちに配信されるので、もしよければ皆さんチェックしてみてください。

（ス・のすけ）

